

平成28年 第11回（定例会）

厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成28年8月29日（月）午後1時25分

2 閉会

平成28年8月29日（月）午後2時35分

3 出席委員の氏名

伴 俊行 森本 早苗 長門 茂明 兵頭 利彦

※佐藤委員長欠席により伴職務代理が議事進行

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 沼田 和男 生涯学習課参事 橋本 欣哉

【書記】学校教育G主幹 木戸 達也

5 会議録署名委員の指名

（ 伴 俊行 ）

（ 長門 茂明 ）

6 教育長報告

（1）行事参加等の動向

（資料1）

（2）台風9号に対する教育委員会の対応について

（資料2）

【質疑】

伴職務代理：（1）、（2）について報告がありました。何か質問等があればお願いします。

伴職務代理：行事参加等の動向での教育長報告の中で、苫小牧市内の中学校訪問とあるが、何校訪問したのか。

兵頭教育長：苫小牧市内には中学校が15校あり、盆前に13校を訪問したが、2校訪問できなかったのが今後訪問する予定である。結果についてはわかりかねるが、どの中学校も好意的に対応していただいた。入学案内の中の支援の内容等について説明したほかにも今後検討している支援の内容についても説明し、議会を経てから入学案内を修正したものを送付し、中学校にお知らせすることにした。

伴職務代理：訪問するとならないでは学校の捉え方も違ってくる。進路指導においてもスムーズにおとすことができるし、何かの時に厚真高校のことが思い浮かぶことにも繋がる。訪問する

ことは大変だと思うが、厚真高校の存続ために有効と考えるので今後も続けてほしい。
伴職務代理：(2) のことであるが、登校と判断した対応については私は問題はなかったと思うが、保護者から学校へどんな問い合わせがあったのか。

兵頭教育長：直接は受けていないので不詳の部分もあるが、避難勧告が出ているのになぜ登校させるのかという趣旨のことだと思う。

町政懇談会の際にも、ある地域では災害時や気象変動が激しいときに休校や部活動の対応がどうなっているのかという話も出てくる。それはケースバイケースで慎重な判断をして対応していると答えている。

森本委員：厚真川を見た時にかなり増水して心配したが、何事もなくよかったと思っている。

兵頭教育長：河川それぞれに防災基準がある。確かに、増水はしているが、それが即危険であるとは限らない。今まで以上に注意は必要であるが、河川の水が増えたから休校することは定義上ならない。安全第一を考えながら対応している。

厚真川、宇隆川、浜厚真地区には気象庁の河川の水位計があり、ネットで確認するとリアルタイムに降り始めからの降雨量を確認できる。それをみるとあまり降っていないことが確認できたが、確かに降り止んでも、上流付近で降ったものは4～5時間かけて下流に影響で出てくる。

また、水位が上がったのは、樋口を止めていたので、降った雨が溜まっておりそれを開けることによる影響もある。

伴職務代理：子どもたちの安全第一を考えなければならないが、臨機応変に対応しなければならないこともある。

長門委員：近隣市町との対応の違いが保護者にとって連絡してくる原因だと思われる。

沼田課長：町道の通行止めの状況であるが、教育長も言っていたように夕方になって樋門等の関係で水かさが増え富野軽舞線の厚南中学校の分岐点近くのくぼみのところで夕方6時くらいに通行止めになったほか、軽舞地区からパイロット道路に行く町道で通行止めになった。夕方になり町道の通行止めは2箇所であった。

伴職務代理：夕方に厚南中学校に行ったとき通行止め前であったが水が相当溜まっていたのを私も確認した。あの部分は昔からいつも冠水するところだ。大雨が降るといつも冠水するのでなんとかならないのかと思っている。

兵頭教育長：総務課長時代の話になるが、富野地区や本郷地区は樋門を止めるので、内水排除をしていかないと水が溜まってしまうところがある。厚真川を改修した結果、水の流れはよくなったが、樋門を止めてしまうとそのような箇所は水が溜まってしまうので汲み上げなければならなくなる。

伴職務代理：厚南中学校への町道の部分はくぼみで下がっているの、上げる工事ができるのではないかと知っている。

7 所管報告

学校教育グループ

- (1) 第16回小学校英語教育学会宮城大会（7月23日～24日、仙台市）
- (2) 学校監査（8月5日、上厚真小学校、厚南中学校）
- (3) 学校水泳プール送迎バス利用実績 (資料3)
- (4) 第2回厚真町教育委員会外部評価委員会（8月19日、青少年センター）
- (5) 平成27年度会計決算審査（8月24日、監査委員室）

社会教育グループ

- (1) 「世界の昆虫展」／7月23日（土）～8月16日（火）／青少年センター
- (2) ホログラフィー展／7月23日（土）～8月16日（火）／青少年センター
- (3) 平成27年度会計決算審査（8月24日、監査委員室）
- (4) 第16回 集まりンピック／8月21日（日）午前9時／スタードーム /約700名参加

【質疑】

伴職務代理：各グループから報告がありました。この件についてご質問等がありますか。

兵頭教育長：給食費の滞納額は、平成28年度当初は約90万円ほどあったが、過日、約30万円ほどが納入されたので現在は約60万円ほどとなっている。そのうち居所不明や生活保護を受給している世帯もあるので、それについては債権放棄の方がよいのではないかと
いう思いがあったが、他とのバランスもありなかなか進まなかった。

長門委員：いつの時点の滞納なのか。

兵頭教育長：平成12年度に学校給食センターが運用され、それから5年間ほどのあいだに滞納されたものだ。平成21年度以降は滞納はない。

伴職務代理：住所がわからない者は、町内にいないということか。

兵頭教育長：町外に転居している。

森本委員：今回納入された者は継続して請求していた者か。

兵頭教育長：その通りです。

沼田課長：債権放棄については、決算審査や例月検査等で監査委員から回収できない債権については手続きをするように指導されていた。

伴職務代理：学校給食費を納入するのは年度内でなくても構わないのか。

兵頭教育長：年度内は現年度としているが、次年度などでは債権が新しいので債権放棄はできない。給食費は債権上2年間で時効になる。しかし、当事者が自分の債権放棄の権利を行使しないと放棄にならない。自分が申し立てをし支払い義務がないこと宣言しない限りは債権は継続する。

伴職務代理：2年間で時効になるなら、その制度を知っているならば我慢して逃げ切ることもできるということか。

兵頭教育長：そうなる。ただ、納入計画を出させてわずかでも納入してもらえば時効の効力は延長さ

れる。督促しても納入されない場合は2年で時効になる。税の5年の時効と同じようなことになる。税は5年の時効を迎えると不能欠損として処理する。

伴職務代理：世界の昆虫展とホログラフィー展は、今年度はどれほどの入場者があるのか。

橋本参事：概数ではあるが、約300人ほどである。

長門委員：ホログラフィー展は何年ほど前から実施しているのか。

橋本参事：昭和55年1月に青少年センターが開館され、当時はホログラフィー室がありそれを展示していた。その展示室も別な用途で使用され、ホログラフィーの展示は25年間ほどしていなかった。夏休み期間中に限定されるが、再開したのは平成26年度からである。

長門委員：私もみたが、随分と古くなっている。そろそろ別に代わるものがあるのもよいと思う。

橋本参事：当時としてはめずらしいもので、現在その技術がいろいろな分野に派生している。他の施設でもあまり見たことがない。

伴職務代理：将来的に残しておいた方がよいものなのか。

橋本参事：それはあると思う。本当は常設展示が好ましいと考えているが、その辺が課題である。

長門委員：ホログラフィーの技術が原点となって、今はこのように変遷しているという経過がわかるといいと思う。あれだけ見ても子どもたちにとっては印象が薄い。

橋本参事：1万円札のホログラムもその応用技術だ。

伴職務代理：経費もかかることであるが、変遷がわかるような展示になってもらえればと思う。

8 議案

(1) 平成29年度使用教科用図書の採択について

【質疑】

伴職務代理：平成29年度使用教科用図書の採択について何かあればお願いいたします。

伴職務代理：教科書は4年間変わらないが、法律上は1年ごとに採択するということがよいのか。

兵頭教育長：毎年、決定する事項となる。

伴職務代理：平成29年度使用教科用図書について提案どおり決定してよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

9 協議事項

(1) 教育委員会の活動状況に関する点検・評価について

(資料4)

【質疑】

伴職務代理：説明が終わりました。意見や質問があればお願いします。

長門委員：外部評価委員の方々に高く評価していただいていたよかったです。

森本委員：自己評価が厳しいところも、委員の方々に高く評価してもらったようだ。

伴職務代理：住民がからむ場合には行政として評価が厳しくなることもあると思うが、正当なものは正当なものとして評価してよいと思う。それが自分たちの自信にもつながる。

伴職務代理：他になければ、これを議会に提出していただきたいと思います。

10 その他

(1) 厚真高等学校の存続に向けた支援について

【質疑】

伴職務代理：説明がありましたが、何か質問等がありますか。

伴職務代理：新しく沼ノ端駅からバスが運行されるが、現行のJRとバスを利用した方が経費的には割安となると思う。

沼田課長：厚真高校生やその保護者について通学に関してアンケートを実施した。アンケート調査結果は、沼ノ端周辺から通学している33人の生徒が、新設バスを利用するかしないかという質問に対して、回答した33人が利用するという回答結果になっている。

木戸主幹：やはりJRを利用した方が新設バスより経費的には割安となるが、アンケートでは利便性のことが考慮されたのか沼ノ端駅周辺の生徒については新設バスを利用したいという結果となった。

兵頭教育長：JRは購入にあたって、全額を支払い購入しなければならないが、あつまバスは自分の負担額だけを支払えばよいので、バスを利用すると家庭の持ち出しは少ない。

(2) 厚真町英語教育研究大会について

と き 9月2日(金)

ところ 第1会場：上厚真小学校 午前9時30分

第2会場：厚南中学校 午後1時10分

【質疑】

伴職務代理：私は出席させてもらおうと思う。

長門委員：都合がつけば出席したい。

森本委員：その日は予定があるので申し訳ないが欠席させてもらう。

【質疑】

伴職務代理：何か委員さんからあればお願いします。

長門委員：小学校英語教育学会宮城大会に参加した教員から感想などは聞いているか。

兵頭教育長：学会で小中連携をテーマに事例発表をした。地域をあげて英語教育に取り組んでいること自体が全国でもめずらしいということだ。学区単位では小中と繋がっているところもあるが、それはある意味、先生同士の形が多く、全校あげてという形は少ないので非常に関心を持たれたようだ。また、研究活動そのものも高い精度のものなので、そちらも興味をもって聴いてもらったようだ。今回行われる研究大会も管内の先生の参加が中心となるが、管外からは英語教育に取り組んでいる自治体からの参加、また、道外では九州の大学の先生も参加する。

伴職務代理：研究会大会では、学会での参加報告もあるのか。

兵頭教育長：それはない。何かの機会に報告があると思う。学会は今年度で4回目の参加になる。

11 次回委員会の開催日程

・9月29日（火） 午後1時30分（予定）

12 閉会